

宮島地区意見交換概要

日時 平成 30 年5月 24 日(木)

場所 宮島公民館

出席 50 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	市民活動サポートセンターが、新しいコミュニティプラサに統合されるとのことだが、再考をお願いしたい。サポートセンターは、利用度も高く、ユニークな施設である。維持費などの経費を節減するために、利用者で共同管理するなどしても維持してほしい。改修したばかりで、いろいろな設備もあるので各種団体にとって使いやすい施設となっている。	市民活動サポートセンターが、新しいコミュニティプラサに統合されるとのことだが、再考をお願いしたい。サポートセンターは、利用度も高く、ユニークな施設である。維持費などの経費を節減するために、利用者で共同管理するなどしても維持してほしい。改修したばかりで、いろいろな設備もあるので各種団体にとって使いやすい施設となっている。
2	寿永荘の建物や設備を現状のまま運営していくことは難しいと思う。市が建て替えることも、大変難しい。PFI のように民間の資金や経営を導入し行政がサポートするかたちで、縮小再編ではなく大きい観光ホテルを設置してくれる企業などを探せばと思う。今の寿永荘を閉鎖するのはもったいないと思う。	老人福祉センター寿永荘は、老人福祉センターの運営審議会で現地での建て替えは厳しいという答申があった。市としても、現地での改修や建て替えは難しいということで、民間施設で寿永荘の機能をしてもらえるところをプロポーザルで募集している。
3	宮島公民館は、宮島地区の各種団体と協力しながら公民館活動を行っている。高齢者も多いので、2階と3階は使用せず、1階のみを使用している。人口減少しているが、公民館の役割・使命は重いと思っている。市からみた位置づけはどうなっているのか？地区としても今後の方向性を決めることが大事だと思う。	公民館は、人づくり、地域づくりの場としてが非常に大切だと思っている。宮島公民館は、現在のところ後期で検討していくことになっている。前期、中期、後期の30年の間に建物も古くなるので、その時には方向性を考えてもらうことになる。前期の10年は、改修して存続していくが、30年後には老朽化しており、統廃合することもあるかもしれない。現在は、後期に位置付けさせてもらいたい。
4	第7次総合計画で「魅力・安心・充実・しあわせおやべ」とあるが、医療について、市民病院の計画はないのか。	市民病院の建設は、ない。北陸中央病院に市民病院的な役割を担ってもらっている。現在、北陸中央病院と連携してやっている。第7次総合計画でも、しっかりと連携していくことになっている。
5	一の滝の近くの空き家が、今回の大雪で屋根も崩れて、ガラスも割れてそのままになっている。一の滝へ来た観光客が、空き家を見て不快な思いをしていると聞く。空き家を、市で何とかしてほしい。行政代執行はできないのか？	その空き家について、市でも認識している。空き家問題は、個人の財産であり難しい。その空き家は、非常に危険度も高く、周辺環境への影響も大きいということで、特定空き家としている。所有者に、助言・指導をしている。解体の助成制度があるので、助成制度を活用してもらい解体してもらうようお願いしている。今後も粘り強くしていきたい。行政代執行については、個人の財産であるので難しい。

No.	発言要旨	市長回答要旨
6	鼓ヶ滝への道が荒れている。昔、不動温泉があったときは管理してあったが、今はアスファルトがガタガタになっている。道幅も崩れて狭くなっている。県道なので、市から県に要望してほしい。	鼓ヶ滝は素晴らしい観光資源なので、しっかりと県に要望していきたい。
7	宮島を通っているスクールバスは、乗る児童が少ないので大型でなくてもよいのではないか。バスの更新も大変だと思う。	宮島だけのスクールバスなら小型でもよいが、他の地区も回るため大きいものになっている。市内全域を回る関係で、大きなものになっていることを理解いただきたい。
8	2040年問題があり、高齢者が増え介護保険料がどんどん上がっていく。介護施設で清掃などのボランティア活動をするとポイントとなり、保険料を引き下げてくれる介護保険ボランティアポイント制度が佐渡市にある。小矢部市でもそのような制度があれば、社会の役に立て、自分にもメリットがあるので、生きがいになると思う。	ぜひ参考にさせていただく。
9	目標人口の28,200人があるが、市外へ転出した人の追跡調査はできるのか。また、転入者に転入理由を聞くことができるのか。	転入者・転出者は市民課である程度は把握している。転出者では、学生が都会に進学し、そのまま都会で就職されることが7割くらいある。特に若い女性が都会から帰ってこない。10年後の成人式と35歳同窓会を開催しているが、アンケートをとると、男女共に、7割以上が帰ってきたいとあった。なぜ来ないかと聞くと、「住みやすいところ」と「住みたい」ところのマインドが違うと言われる。「住みやすいけど、住みたくない」ということがあるようだ。「住みやすいし、住みたい」と思ってもらえるよう若い人に情報発信をしていきたい。
10	若い人は卒業して、市内に就職先があるのか心配していると思う。	小矢部市の有効求人倍率は3倍を超えているので、働くところはある。ゴールドウインでも、本社機能の研究施設を小矢部市に移転された。数十人が東京から小矢部市に来ている。フロンティアパークで先日竣工式があったが、有名な会社だ。小矢部市民を採用したいということだったので、働くところはあると思っている。